

※保育園(所)は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園(所)生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

<医師用>

意見書	
めぶき園 施設長 松川 満 殿	
園児氏名	
生年月日	
病名「	」
年 月 日	日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。
年 月 日	
医療機関	
医 師 名	印（またはサイン）

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

感 染 症 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発疹出現の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹（三日はしか）	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水 痘（水ぼうそう）	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 （O157・O26・O111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで